



自分らしく生活するために、自宅にリハビリ専門職が来てくれるって知ってますか？



訪問リハビリテーションってなに？

実際の生活の場に作業療法士、理学療法士、言語聴覚士が伺い、利用者本人と自宅環境との適合を調整し、自宅での自立支援をおこなってくれます。 ※本人の状況により実施内容等が異なります。

利用者の方へのインタビュー！

Q 訪問リハビリを始めたきっかけは何ですか。

A 股関節の手術をして入院中もリハビリをしていました。しかし、なかなか足が上がるようにならなくて。退院してからも自宅でリハビリを続けたくて娘に勧められて始めました。

Q 訪問リハビリではどのようなことをしますか。

A 今は、歩行器を使って家のなかを移動しますが、一本杖を使って移動することが目標です。

そして、今、入浴はシャワーですが、湯船にかかることも目標です。

そのため、実際に自宅の湯船をまたぐ練習をしています。安全に湯船の中に入るために、手すりを取り付ける場所を考えてもらったり、福祉用具を選んでいただきケアマネジャーさんに連絡を取ってもらったりもします。



Q 訪問リハビリの良いところはどんなことですか。

A 家でリハビリが出来るので、家の段差だったり、部屋やお風呂場の広さだったりを見てもらい、自分にあった福祉用具を考えてもらったりしています。あとは、家族と一緒にリハビリを見ることができるので、家族も一緒に普段の生活で気をつけなければいけないこと等も知ってくれます。リハビリをした次の日は調子が良くなるんだよね。

Q 橋本 智史作業療法士の在宅医療への想いを教えてください。

A 疾病や加齢などで今まで出来たことが出来なくなってしまい、不安を抱えて在宅生活を送られている方がたくさんいらっしゃいます。訪問リハビリでは、生活の場のご自宅に伺い、ご利用者様やご家族様が安心して在宅生活を送れるよう援助しています。ご利用者様には、大きな目標から小さな目標まで様々な目標があると思います。リハビリ専門職として、「散歩がしたい」、「旅行に行きたい」などそれぞれの『生活の目標』に寄り添い、「自分らしく暮らす」ことができるように精一杯支援していきたいと思っています。